



将来を見据えたまちづくりについて
地域経済のさらなる活性化について

政進会 永井 浩介

問 (仮称) 大谷・杉久保公園について伺います。1日10万人が利用する海老名サービエリアに隣接する場所に公園を造るといことは、すごく大きなビジネスチャンスになると思います。近隣で生産された物産も生かすような構想を練って、地域経済を活性化させる。子どもたちには傾斜地を利用した遊具を造ったり、高齢者には、散歩で休めるような施設が欲しいです。また、ゴルフ練習場の隣にはドッグランを造るなど、夢のある構想を描いていただきたいと考えますが、現段階での構想をお伺いします。

答 (市長) : 計画地の目の前には緑が豊かな杉久保小学校があり、その奥に杉久保富谷児童公園もあります。将来のことを考え、緑のラインができるこの場所に公園を造る考えです。自然豊かで子どもたちが遊べるなど大きな期待が込められる公園とするとともに、海老名の地産地消だけでなく、農産物を売るには直売所を設け、それを基点にしなからやっていく必要があると思います。

問 工業系などに特化して大学を誘致すれば、今後、ものづくり企業や市内にある産業技術総合研究所との連動も図れる可能性があります。若い人が賃貸住宅に住んだり、アルバイトなど新たな人の流れもできると思います。今後、新たなまちを展開する中で、大学誘致を積極的に検討していただきたいと思いますが見解を伺います。

答 (市長) : サテライトキャンパスなら海老名駅周辺に可能性はありますが、学校そのものを持ってくるには相当な面積が必要です。市内には神奈川県施設の施設などがありますので、それに関連する学部の誘致などが考えられます。



今後の学校運営について

政進会 志野 誠也

問 幼児教育から小学校教育への移行を円滑にするために進められている取り組みについて伺います。

答 (教育部参事) : 小中学校連携に重点的に取り組んでいますが、同様に幼児教育と小学校教育の接続についても課題があると考えています。中学校区ごとに幼稚園、保育所などと小中学校の関係者が一堂に会する幼保小中連絡協議会において、令和4年度、教育委員会から幼保小の架け橋プログラムの概要と次年度計画について説明しました。

問 幼保小の架け橋プログラムの内容について伺います。

答 (教育部参事) : 幼保小の架け橋プログラムにおける取り組みとして、小学校に入学した児童がスムーズに学校生活へ移行できるよう編成したスタートカリキュラムがあります。入学した子どもが、保育所や幼稚園での学びや遊びなどを基礎として、学校生活を創り出していくものです。令和5年度に向けて、海老名市版のスタートカリキュラムとして、これらの考え方を反映させた学習予定を全校に配布するとともに、研修会を行うなど、教育委員会としてサポートしながら取り組みを推進していきます。

問 幼保小の接続について教育長の考えを伺います。

答 (教育長) : これからの学校は、子どもたちに合わせて自分たちの枠を丁寧に変える学校でなければいけないと考えています。幼児教育と学校教育をつなぐことは、学校の新しい枠組みを創ることだと思っていますので、重点的に取り組み、入学する子どもたちが楽しく学校生活をスタートできるように、教育課程などを研究していきます。

その他の質問

- ・海老名市DXの推進とICTの取り組みについて
- ・厚木駅周辺のまちづくりについて



とき	会議名	内容
6月1日(木)	本会議	開会・提案説明・議案審議
6月7日(水)	常任委員会	総務(付託議案など)
総務常任委員会後		予算決算(補正予算:総務分科会)
6月8日(木)		文教社会(付託議案など)
文教社会常任委員会後		予算決算(補正予算:文教社会分科会)
6月9日(金)		経済建設(付託議案など)
経済建設常任委員会後	予算決算(補正予算:経済建設分科会)	
6月12日(月)	本会議	一般質問
6月13日(火)		
6月14日(水)	常任委員会	予算決算(会長報告、委員会採決など)
6月16日(金)	本会議	委員長報告・採決・閉会

※6月1日と6月16日は午前9時30分に、その他は午前9時に開議の予定。(会議の日程・時間などは変更になることもあります。)

※傍聴する方のための、議案書の貸し出し(先着5名)を行っています。

※手話通訳・託児をご希望の方は、傍聴の1週間前までに議会事務局へご連絡を。なお、ご希望に添えない場合もありますので、ご了承下さい。

☎議会事務局 ☎(235)4931 ☎(234)4646

●傍聴に来られない方は
※本会議・委員会の様子はインターネットで配信しています。市議会ホームページの「本会議中継」又は「委員会中継」をクリックしてご覧ください。